

(3) コークス

(単位：千トン)

年度 地域	昭46		53		54		55		56		57(予定)		
	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	
大阪市地域	815	29.9%	828	36.2%	915	38.1%	1,028	43.4%	1,076	48.0%	1,094	49.1%	
北大阪地域	2	0.1	1	0.0	1	0.1	1	0.0	1	0.0	0	0.0	
東大阪地域	23	0.8	16	0.7	17	0.7	14	0.6	14	0.6	7	0.3	
南大阪地域	泉北地区	1,858	68.1	1,422	62.3	1,451	60.3	1,308	55.2	1,141	50.9	1,117	50.2
	泉南地区	15	0.6	10	0.4	10	0.4	9	0.4	2	0.1	5	0.2
	南河内地区	13	0.5	10	0.4	11	0.4	10	0.4	8	0.4	5	0.2
	計	1,886	69.2	1,442	63.1	1,472	61.2	1,327	55.9	1,151	51.4	1,127	50.6
合計	2,726	100.0	2,287	100.0	2,405	100.0	2,370	100.0	2,242	100.0	2,228	100.0	

表 2-30 地域別二酸化硫黄排出量の推移

(単位：千トン)

年度 地域	昭46		53		54		55		56		57(予定)		
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	
大阪市地域	75	33.3%	6	22.2%	5	20.0%	4	19.0%	4	22.2%	4	21.0%	
北大阪地域	13	5.8	2	7.4	2	8.0	1	4.8	1	5.6	1	5.3	
東大阪地域	15	6.7	2	7.4	3	12.0	2	9.5	2	11.1	1	5.3	
南大阪地域	泉北地区	97	43.1	12	44.4	10	40.0	9	42.9	6	33.3	7	36.8
	泉南地区	23	10.2	4	14.9	4	16.0	4	19.0	4	22.2	5	26.3
	南河内地区	2	0.9	1	3.7	1	4.0	1	4.8	1	5.6	1	5.3
	計	122	54.2	17	63.0	15	60.0	14	66.7	11	61.1	13	68.4
合計	225	100.0	27	100.0	25	100.0	21	100.0	18	100.0	19	100.0	

(注) 重油(原油を含む)、軽油、灯油、石炭、コークス及びタールピッチ類を対象とした。

表 2-31 地域別重油中の平均硫黄含有率の推移

(単位：%)

年度 地域	昭 46	53	54	55	56	57(予定)	
大阪市地域	1.26	0.16	0.16	0.15	0.16	0.16	
北大阪地域	1.92	0.32	0.35	0.29	0.28	0.18	
東大阪地域	1.75	0.42	0.43	0.40	0.39	0.25	
南大阪地域	泉北地区	1.15	0.22	0.22	0.21	0.16	0.28
	泉南地区	1.58	0.16	0.14	0.19	0.22	0.29
	南河内地区	2.12	0.58	0.55	0.48	0.48	0.56
	計	1.29	0.20	0.19	0.21	0.19	0.29
合計	1.28	0.20	0.21	0.20	0.20	0.24	

- (注) 1 原油を含む重油の平均硫黄含有率である。
 2 硫黄含有率は、重油の比重を0.9、原油の比重を0.83として重油、原油の年間使用量と重油、原油からの二酸化硫黄年間排出量とから算出した。
 3 脱硫効率を考慮した数値である。